

私とロータリー

寄稿

災害からの復旧には、被災者のニーズをとら

え、被災地へ駆けつけるボランティアが効率よく活動できるよう、両者の調整役となるコーディネーターを配置することが欠かせません。

半田南ロータリークラブ社会奉仕委員会では、こうした人材を養成するために、平成10年から

半田南ロータリークラブ
半田災害支援VCの会 会長

服部 裕子



災害に強いまちづくりへ

「災害ボランティアコ田南ロータリークラブの象に防災講座の開催、各地域社会共同体」として
ーディネーター入門講座活動を引き継いで、1千地区の防災訓練への参認証されました。また、
」を開催して、3年間で人のコーディネーターを加、広報誌「タンポポ便最近の活動では平成19年
91人を養成してきました」養成することを目標に」の発行、防災活動セより半田市が行っている
た。

この受講者のうちの20人が平成13年3月に、半会」を設立しました。そロータリークラブと地域者と障害者世帯の家具に
「半田災害支援ボランティアセンターの運営と簡易トイ家具転倒防止器具取付け
「半田災害支援ボランティアセンターの普及活動等、半田南事業の委託を受け、高齢
転倒防止器具の取付けを行って

きた結果、

して、受講者数は平成22年2月現在で949人になりまし
の団体が連携して活動す3年間で192世帯に施
ることを目標としてきま工することが出来まし
した。

その間の主な活動は、保育園、幼稚園へ大型紙芝居を使って地震のお話や、小・中・高校生を対
こうした活動が評価さ今後地域と連携して
れて、平成16年4月に、安全なまちづくりに寄与
国際ロータリーより日本
で29番目の「ロータリー